

宮城県感染症発生動向調査情報

平成31年2月14日発行

— 2019.2.4～2019.2.10 — 第6週 —

1. 集計

上段は患者発生数, 下段は定点当たり

疾病	保健所							患者数	宮城県(含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼		患者数	累計	第3週	第4週	第5週	第6週
水痘	3 0.60	13 1.30	4 0.80	1 0.50		2 0.40	1 0.50	15 0.56	39 0.66	230	レ	○	レ	○
流行性耳下腺炎			1 0.20					7 0.26	8 0.14	20				
感染性胃腸炎	36 7.20	45 4.50	8 1.60	17 8.50	9 3.00	21 4.20	3 1.50	181 6.70	320 5.42	1,655	◎	◎	◎	◎
手足口病	1 0.20	1 0.10							2 0.03	51				
伝染性紅斑	10 2.00	37 3.70	8 1.60		2 0.67	4 0.80	17 8.50	66 2.44	144 2.44	1,303	◎	◎	◎	◎
突発性発しん	1 0.20	6 0.60	3 0.60		2 0.67	4 0.80		15 0.56	31 0.53	120	レ			○
ヘルパンギーナ								1 0.04	1 0.02	3				
インフルエンザ	351 43.88	409 27.27	253 31.63	45 15.00	135 27.00	296 37.00	87 21.75	1,557 35.39	3,133 32.98	23,176	◎	◎	◎	◎
咽頭結膜熱	1 0.20	4 0.40		2 1.00		3 0.60		5 0.19	15 0.25	84				
流行性角結膜炎	1 1.00							1 0.17	2 0.17	21				
急性出血性結膜炎									0 0.00	1				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	41 8.20	24 2.40	8 1.60	2 1.00		49 9.80	3 1.50	67 2.48	194 3.29	1,039	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	0				
無菌性髄膜炎									0 0.00	0				
マイコプラズマ肺炎				2 2.00					2 0.17	32				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症	1 0.20	2 0.20	2 0.40	1 0.50	2 0.67	1 0.20		9 0.33	18 0.31	162	○	○	○	レ
感染性胃腸炎(ロタウイルス)									0 0.00	1				
拡張疾病	マイコプラズマ肺炎(小児科)													
	川崎病													
	不明発しん症							7						

◎: 流行の変化について, 今後の情報に十分注意
○: 発生または流行について, 今後の情報に留意
レ: 発生が少なくなっている傾向

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 62例

2. 全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核(患者(確定例))
大崎管内 男性1名
仙台管内 女性2名
結核(無症状病原体保有者)
仙南管内 女性1名
仙台管内 女性1名、男児1名*
- 3類感染症: 報告なし
- 4類感染症: レジオネラ症
仙南管内 男性1名
- 5類感染症: カルバペネム耐性腸内細菌感染症
仙台管内 女性1名(Enterobacter cloacae)
後天性免疫不全症候群
登米管内 男性1名
侵襲性肺炎球菌感染症
塩釜管内 男性2名
梅毒
仙台管内 男性2名、女性1名
百日咳
仙台管内 女児1名*
風しん
仙台管内 男性1名

※男児、女児は6歳未満

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

- [伝染性紅斑]
仙南、塩釜、大崎、気仙沼、仙台管内で警報レベルを継続中です。
- [インフルエンザ]
すべての管内で警報レベルを継続中です。
- [A群溶血性レンサ球菌咽頭炎]
仙南、石巻管内で警報レベルを継続中です。
- [水痘]
塩釜管内で注意報レベルを超えました。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

インフルエンザ患者より			
石巻管内	第5週採取分	インフルエンザウイルスAH1pdm9	2件
気仙沼管内	第5週採取分	インフルエンザウイルスAH3	2件
大崎管内	第5週採取分	インフルエンザウイルスAH1pdm9	1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確定	中間報告	
	第3週採取分 (1.14～1.20)	第4週採取分 (1.21～1.27)	第5週採取分 (1.28～2.3)
インフルエンザウイルスA(H1)pdm09	6件	7件	8件
インフルエンザウイルスA(H3)★	15件	14件	10件
RSウイルス	1件	0件	1件
アデノウイルス	0件	2件	0件

★インフルエンザウイルスA(H3)は、血球凝集性が非常に低く、型同定が難しい状況です。そのためA(H3)は、第2週検体より、免疫学的にA型が確認され、かつ血球凝集が陰性の検体を暫定的にA(H3)と報告しています。

4. 今週のコメント

【インフルエンザ】

患者報告数は、第4週をピークに前週の5,583人から3,133人に減少しましたが、県内全域で警報レベルを超えています。流行は継続していますので、帰宅時の手洗いの徹底、マスクの着用、加湿器の使用など、引き続き感染予防に努めましょう。急な発熱、悪寒などインフルエンザ感染が疑われる症状がある場合は、早期に医療機関を受診して下さい。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)
電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362
HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansen-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

